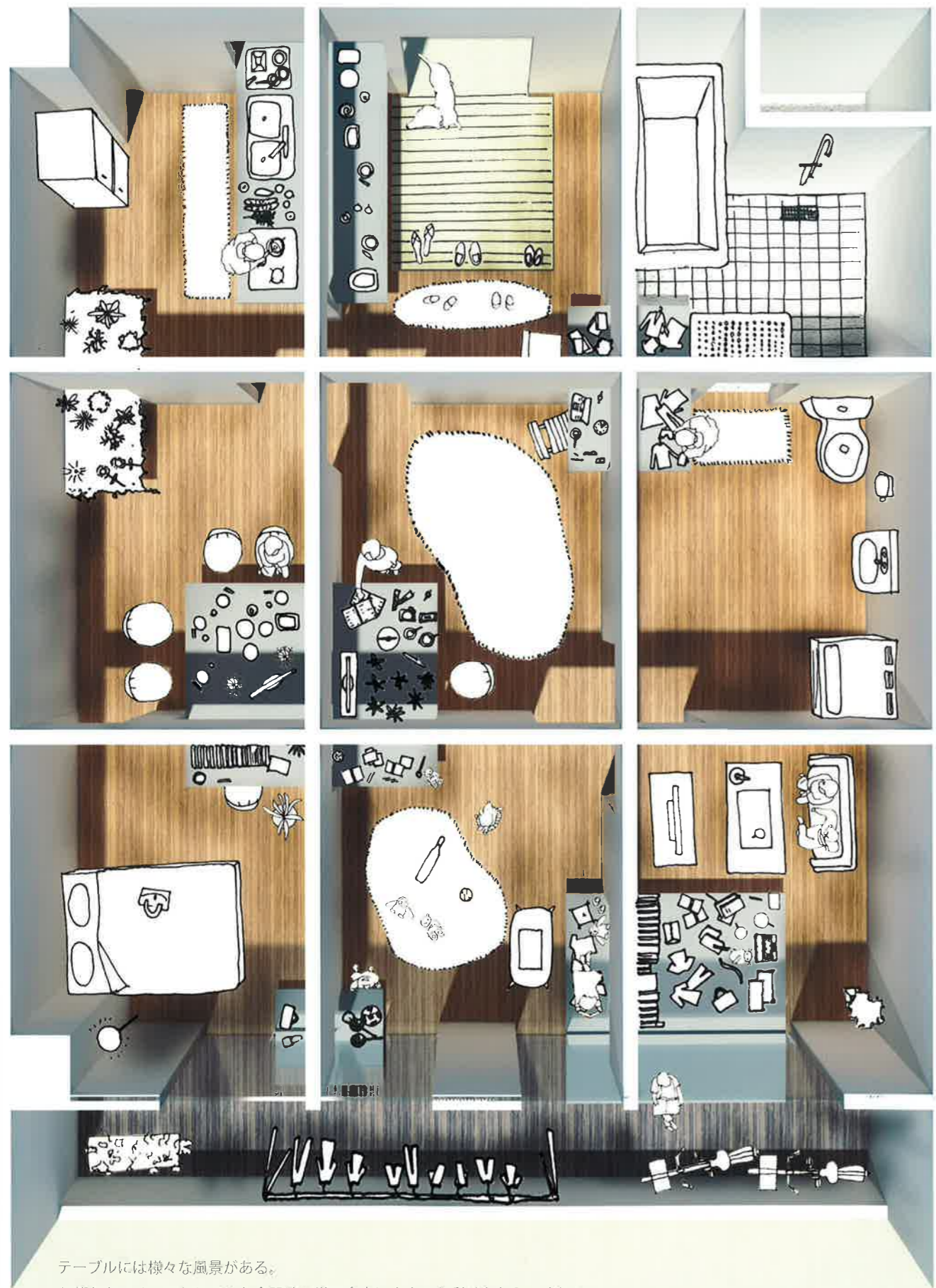


「テーブルで広がる風景」



テーブルには様々な風景がある。

お花とキッチンのおしゃれな食器は日常の食卓にささいな彩りを与えてくれる。

キッチンは時に近所の人を誘い、バーのようなカウンター。子供が勉強し、父が向かいで仕事をしている。子供が遊んでいる前で母がガーデニングを楽しむ。

それぞれ別の行為が一つのテーブルにそれらの関係が混ざり合う。

家族が仲良く暮らしていくためには、家族同士が顔を合わせる機会が重要である。

現在の住宅では、家族同士が顔を合わせる機会はダイニングやリビング以外のように感じる。

そこで室を完全に仕切るのではなく、互いの部屋に繋がるテーブルを用意した。

天板が部屋をまたいでいることでそれぞれの領域があいまいになり、孤立した人や、空間がテーブルによってつながりを持つようになる。

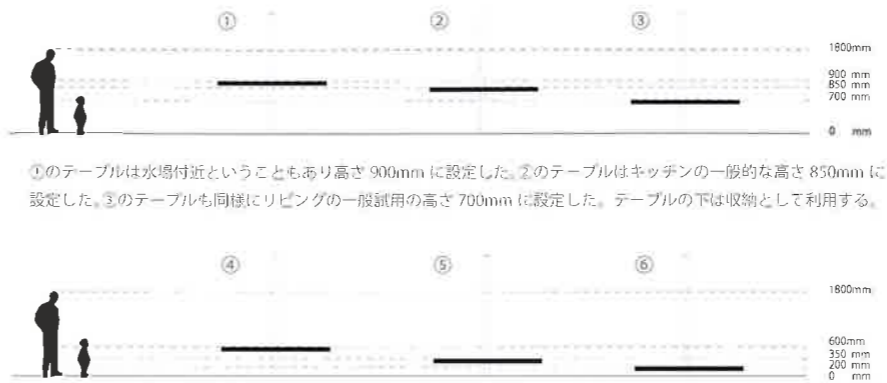
それは単に家の内部だけに限ったことではない。キッチンのテーブルが外にせり出すことで、近所の人と話しやすく、地域のたまり場にもなる。昼は喫茶店になり、夜はカウンターの居酒屋になるかも知れない。このように天板によって家族のみならず地域の人との関わり合いをも生み出す。また天板自体隣り合う部屋を跨いでいるため、部屋自体が数珠つなぎになっているため関係性はどんどんと広がっていく。このように、個室に閉じこもりがちなる行為が大きなテーブルを用いることで、家族同士の新しい関わり方が生まれてくるのではないだろうか。

■ テーブルでつながる空間



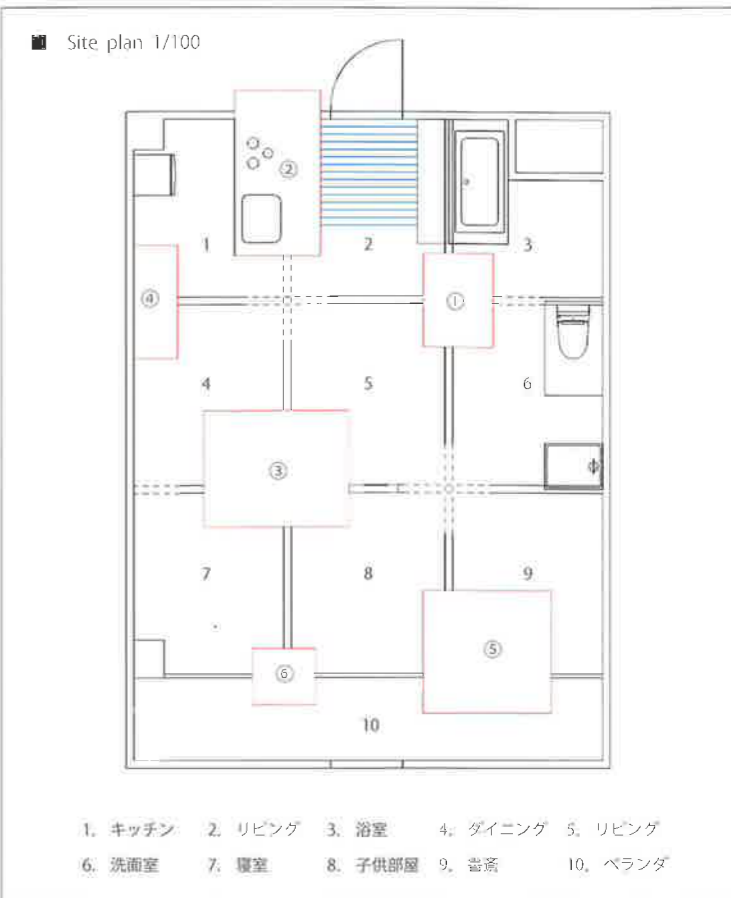
テーブルで空間をつなげることで、それぞれ別のことをしていても、同じテーブルを共有することで関係性が生まれる。また、内部のみで完結するのではなく、テーブルを外にはみ出すことで外との関係性も生み出す。

■ テーブルの高さの変位



①のテーブルは水場付近ということもあり高さ 900mm に設定した。②のテーブルはキッチン一般的な高さ 850mm に設定した。③のテーブルも同様にリビングの一般試用の高さ 700mm に設定した。テーブルの下は収納として利用する。

④のテーブルは母の趣味のガーデニングに使われており、すぐいじれる高さ 600mm と設定した。⑤、⑥の子供部屋に挿しているテーブルは子供の机と椅子としても使えるようにそれぞれ、200、350mm と設定した。



1. キッチン 2. リビング 3. 浴室 4. ダイニング 5. リビング
6. 洗面室 7. 寝室 8. 子供部屋 9. 書斎 10. ベランダ

